

No. 532  
2015年  
11月

# OR学会だより

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F  
電話 (03)3851-6100 Fax (03)3851-6055  
http://www.orsj.or.jp/

## 2016～2017年度役員等の選挙日程

- (1) 会長候補者の信任投票
- (2) 改選役員（理事，監事）の選挙
- (3) 代議員の選挙

以上3件とも，2016年2月に名誉会員，正会員による郵送投票の予定です．なお，(2)はOR誌による広報，(3)は信任投票になる場合もあります．また，改選数と候補者数が同数の場合，無投票になることがあります．

## ● 2016～2017年度 役員候補者ご推薦のお願い

役員規程に従って2016～2017年度の役員を選出を行います．つきましては，候補者のご推薦をお願いいたします．

- ・推薦者は，名誉会員または正会員5名以上とし，ご本人の同意を得たうえでご推薦ください．
- ・会務の分担ごとの選挙のため，下記推薦届の□に✓を入れてください．
- ・推薦届締切：2015年12月15日
- ・推薦届送り先：OR学会事務局 〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F  
TEL 03-3851-6100, FAX 03-3851-6055, E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会  
役員選挙管理委員会

..... 切 り 取 り 線 .....

2015年 月 日

## 役員候補者（会長を除く）推薦届

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会選挙管理委員会殿

2016～2017年度日本オペレーションズ・リサーチ学会の役員

- |                                  |                               |                                      |                                      |                               |
|----------------------------------|-------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 副会長（1名） | <input type="checkbox"/> 庶務理事 | <input type="checkbox"/> 研究普及理事（普及）  | <input type="checkbox"/> 編集理事（論文誌）   | <input type="checkbox"/> 会計理事 |
| <input type="checkbox"/> 渉外理事    | <input type="checkbox"/> 広報理事 | <input type="checkbox"/> 無任所理事（本部所属） | <input type="checkbox"/> 無任所理事（支部所属） | <input type="checkbox"/> 監事   |

\_\_\_\_\_ 氏を推薦いたします．

推薦代表者： \_\_\_\_\_ (印) (所属： \_\_\_\_\_)

\_\_\_\_\_ (印) \_\_\_\_\_ (印)

\_\_\_\_\_ (印) \_\_\_\_\_ (印)

候補者略歴（100字程度）

---



---



---



---

上記の推薦に同意します．候補者 \_\_\_\_\_ (印) (所属： \_\_\_\_\_)

## ● 2016～2017年度 代議員 立候補および候補者ご推薦のお願い

代議員選挙規程に従って2016～2017年度の代議員の選出を行います。つきましては、立候補および候補者のご推薦をお願いいたします。

- ・代議員候補者は、名誉会員または正会員とします。
- ・推薦者は、名誉会員または正会員とし、ご本人の同意を得たうえで推薦してください。
- ・立候補および推薦届締切：2015年12月15日（メールにてお送りください。書式自由。）
- ・立候補および推薦届送信先：OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会  
代議員選挙管理委員会

## ● 日本OR学会各賞の候補ご推薦のお願い

本学会では、研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞、業績賞、普及賞、実施賞、論文賞、学生論文賞を設定し、それぞれの分野で顕著な成果・業績を挙げられた個人や企業を毎年表彰しております。つきましては、今年度も受賞候補者の積極的なご推薦を募ります。

### 推薦締切日

1. 業績賞、普及賞、実施賞：2015年11月30日
2. 研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞：2016年1月31日
3. 学生論文賞：2016年3月31日

推薦状は、学会HP <http://www.orsj.or.jp/whatisor/award7.html> からダウンロードしてご利用ください。

過去の受賞者一覧は学会HPに掲載しています。

### 〔研究賞〕

昭和43年（1968年）に創設された大西記念文献賞、およびそれを継承した文献賞を受け継ぎ、2011年度から設けられた本学会で最も歴史のある賞です。次の条件を満たす個人に贈られます。

1. 本学会員であること。
2. 独創性と将来性に富み、ORの発展に寄与する研究業績を挙げていること。

授賞対象とする研究業績は過去5年以内のものとし、毎年1名程度を表彰する予定です。（副賞50万円／1名）

### 〔研究賞奨励賞〕

若手研究者個人を対象とする賞です。上の研究賞の条件に加えて被推薦者の年齢に関して次の条件があります。

被推薦者は、原則として応募締め切り時に満35歳以下であること。ただし、OR研究歴が短い方は、こ

の年齢制限を超えていても構いません。

授賞対象とする研究業績は過去3年以内のものとし、毎年4名程度を表彰する予定です。（副賞20万円／1名）

### 〔事例研究賞〕

ORの優れた事例研究に対して贈られます。毎年3件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

### 〔業績賞〕

ORの研究・教育・実施などにかかわる活動に顕著な業績を挙げた個人に対して贈られます。

ただし被推薦者は、原則として応募締め切り時に満40歳以上、満60歳以下の学会員であることが必要です。毎年1名程度を表彰する予定です。（副賞10万円／1名）

### 〔普及賞〕

ORの普及への大きな貢献に対して贈られます。毎年2件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

### 〔実施賞〕

ORの強力な実施・推進に対して贈られます。毎年2件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

### 〔論文賞〕

2010年度より設けられた新しい賞です。過去1年間に本学会論文誌に掲載された論文のうち、特に優れたもの1編に贈られます。授賞論文の著者すべて（非会員が含まれる場合も全員）を表彰します。なお、論文賞の推薦は募りません。（副賞30万円／1件）

### 〔学生論文賞〕

学生によるORに関する優れた研究に対して贈られるものです。対象は、来春提出される学部の卒業論文、または大学院の修士論文とします。毎年5編程度を表彰する予定です。学生・指導教員がともに本学会員であることが必要です。詳しい募集要項は、OR誌2月号に掲載します。

（表彰委員会）

## ● 2016年春季シンポジウム（第75回）

日 程：2016年3月16日（水）

場 所：慶應義塾大学 矢上キャンパス

## ● 2016年春季研究発表会

日 程：2016年3月17日(木), 18日(金)

場 所：慶應義塾大学 矢上キャンパス

テーマ：「実学で切り拓くOR」

実行委員長：栗田 治 (慶應義塾大学)

## ● 関西支部

関西支部URL：<http://www.orsj.or.jp/kansai/>

## ・ 関西支部シンポジウム

「個人情報保護法の改正とデータサイエンスの新潮流」

日 時：2015年11月14日(土) 13:00~17:30

場 所：京都府立大学稲盛記念会館102講義室(京都市左京区下鴨半木町1-5)

定 員：150名(事前申込不要, 参加費無料)

趣 旨：平成27年5月21日, 個人情報保護法とマイナンバー法の両改正案が衆議院を通過し, 参議院へ送られた。個人情報保護法は平成17年の全面施行後, 初めての大きな改正となる。この改正案は, 「ビッグデータ」の有効活用を可能にすることを目指している。データサイエンスの領域から, 匿名加工情報の利用などを通じたビジネスチャンスが生まれることが期待されている。その反面, プライバシー保護に対する安心を担保できるかについて, 国民的なコンセンサスの醸成が必要と思われる。このような状況を鑑み, 個人情報保護法とマイナンバー法の両改正を俯瞰し, データサイエンスの新時代の息吹を起こす契機となることを目指して, シンポジウムを開催する。

主 催：OR学会関西支部

協賛学会(依頼中を含む)：情報ネットワーク法学会, システム制御情報学会, ヒューマンインタフェース学会, IEEE関西支部, 電子情報通信学会関西支部, 情報処理学会関西支部

オーガナイザー：吉富康成(京都府立大学大学院生命環境科学研究科 教授)

プログラム：

- (1) 13:00~13:05 開会あいさつ  
岳 五一(甲南大学知能情報学部 教授, 日本OR学会関西支部長)
- (2) 13:05~14:05  
「個人情報保護法の改正とマイナンバー法施行」  
岡村久道(英知法律事務所 所長, 弁護士, 国立情報学研究所 客員教授)

14:05~14:10: 休憩

(3) 14:10~15:10

「医療情報学における個人情報保護法改正の影響」  
黒田知宏(京都大学医学部附属病院医療情報企画部 教授)

15:10~15:20: 休憩

(4) 15:20~16:20

「個人特定のリスクを低減させる匿名化技術」  
千田浩司(日本電信電話株式会社NTTセキュアプラットフォーム研究所データセキュリティプロジェクト 主任研究員)

16:20~16:25: 休憩

(5) 16:25~17:25

「データサイエンスを牽引するソフトウェア環境」  
石田基広(徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部 教授)

(6) 17:25~17:30 閉会あいさつ

吉富康成(京都府立大学大学院生命環境科学研究科 教授)

懇親会：

(1) 時間：18:00~

(2) 場所：下鴨芹生(京都府京都市左京区下鴨西半木町82)

(3) 参加費用：5,000円

(4) 参加申込：2015年11月11日(水) 17:00までに, 吉富康成(京都府立大学)までメール(E-mail: yoshitomi@kpu.ac.jp)でお知らせください。

問合せ先：吉富康成(京都府立大学)

E-mail: yoshitomi@kpu.ac.jp, Tel & Fax: 075-703-5432

\* 詳しくは, <http://www2.kpu.ac.jp/ningen/infsys/or-kansai-symp-2015.html> をご覧ください。

## ● 新宿OR研究会

【第353回 新宿OR研究会】

日 時：2015年11月17日(火) 12:00~14:00

場 所：東天紅会議室(新宿センタービル53F)

講 師：岸本 信氏(千葉大学法政経学部 准教授)

テーマ：「協力ゲーム理論入門」

場 所：東天紅会議室(新宿センタービル53F)

参加費：3,000円(昼食代を含みます。事前にメールにてお申込みください。)

問合せ先：日本OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

● 2016年度研究部会新設および継続の申請について

研究普及委員会では、その活動の大きな柱の1つとして、研究部会・グループの設立・運営のお手伝いをしております。研究部会の設置期間は、原則として2年以内ですが、理事会の承認が得られればさらに1年延長することも可能です。部会が発足しますと財政的な補助もいたします。研究テーマは、基礎理論から実践研究までご自由にお考えいただけます。

今年度活動中の研究部会・グループは以下のとおりです。詳しくは学会WEBをご覧ください。

<http://www.orsj.or.jp/activity/sig.html>

<b>特設研究部会</b>	
オリンピック、パラリンピックとOR	
1	危機管理
2	エネルギー
3	スケジューリング、ロジスティクス
4	施設・交通
5	人の動きの数理モデル、ビッグデータ
<b>常設研究部会</b>	
1	待ち行列
2	数理計画 (RAMP)
3	評価のOR
4	意思決定法
5	サプライチェーン戦略
<b>研究部会</b>	
1	大規模インフラストラクチャーのOR
2	ORにおけるゲーム理論
3	OR普及のためのモチベーション教育
4	安全・安心・強靱な社会とOR
5	確率モデルとその応用
6	公共的社会システムとOR
7	信頼性
8	ビッグデータとマーケティング分析
9	リーンマネジメントシステム
10	アグリサプライチェーンマネジメント
11	最適化の基盤とフロンティア
12	数理的発想とその実践
13	不確実性環境下の意思決定モデリング
<b>研究グループ</b>	
1	地域課題解決のOR

申請の締切は**新設・継続ともに12月11日(金)**です。申請用紙は事務局までご請求ください。

● 研究部会・グループ開催案内

〔待ち行列〕

・第258回

日 時：2015年11月21日(土) 14:00~17:00

場 所：東京工業大学大岡山キャンパス西8号館 (W) 809号室

テーマと講師：

- (1) 「最適停止問題によるジョブ処理システム若化の解析」  
町田文雄 (東京工業大学)
- (2) 「独立確率過程の大数の強法則と流れが定める確率順位付けモデル」  
服部哲弥 (慶応義塾大学)

問合せ先：神奈川工科大学井家敦

E-mail: [inoie@nw.kanagawa-it.ac.jp](mailto:inoie@nw.kanagawa-it.ac.jp)

部会 URL： <http://www.orsj.or.jp/queue/>

〔意思決定法〕

・第33回

日 時：2015年11月24日(火) 16:00~18:00

場 所：日本大学桜門会館303会議室 (東京都千代田区五番町2-6)

[http://www.nihon-u.ac.jp/\\_asset//community\\_and\\_service/community/alumni/pdf/map.pdf](http://www.nihon-u.ac.jp/_asset//community_and_service/community/alumni/pdf/map.pdf)

テーマと講師：

- (1) 「管理会計へのAHP/ANPの適用」  
大山口菜都美 (秀明大学)
- (2) 「正と反の経営学の提案—消費の2極化と経営戦略」  
木下栄蔵 (名城大学)

問合せ先：西澤一友 (日本大学)

Tel: 047-474-2664

E-mail: [nishizawa.kazutomo@nihon-u.ac.jp](mailto:nishizawa.kazutomo@nihon-u.ac.jp)

\* 終了後、懇親会を行います。

〔リーンマネジメントシステム〕

・第9回

日 時：2015年11月27日(金) 15:30~17:30

場 所：金沢学院大学サテライト教室 (金沢市南町3-1 南町中央ビル6階)

テーマと講師：

- (1) 「使用済み食用油の再利用の効率化とリーンマネジメント」

奥原浩之 (大阪大学), 春名 亮\* (金沢学院大学)  
 (2) 「物の流れを基点とした業務効率向上のアプローチ」

木内正光 (城西大学)

**問合せ先:** 北條仁志 (大阪府立大学)

E-mail: hojo@mi.s.osakafu-u.ac.jp

\*研究会終了後、懇親会を予定しております。

研究会・懇親会に参加ご希望の方は、11月18日 (水) までに北條までご連絡ください。

### 〔信頼性〕

#### ・第11回

**日 時:** 2015年12月19日(土) 13:30~16:20

**場 所:** 法政大学小金井キャンパス西館6階W6010室

<http://www.hosei.ac.jp/access/koganei.html>

<http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/campus/shisetsu/koganei/index.html>

**テーマと講師:**

(1) 「ソフトウェアテスト: Concolic Testingの応用と課題~SATソルバーと抽象構文木~」

松尾谷 徹 (有限会社デバッグ工学研究所代表)

(2) “Revisiting Byzantine Fault Models: the Question of Dynamicity”

Xavier Defago (奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科)

(3) “Testing-Based Formal Verification: A New and Practical Approach for Software Quality Assurance”

Shaoying Liu (法政大学情報科学部)

**問合せ先:** 首都大学東京 肖 霄 (シャオシャオ)

E-mail: xiaoxiao@tmu.ac.jp

**部会URL:** <http://www.comp.sd.tmu.ac.jp/xiao/social/activity/index.html>

### 〔評価のOR〕

#### ・第66回

**日 時:** 2015年11月21日(土) 14:00~17:00

**場 所:** 筑波大学 春日地区 7A202教室 (つくば市春日1-1)

[https://www.tsukuba.ac.jp/access/map\\_kasuga.html](https://www.tsukuba.ac.jp/access/map_kasuga.html)

**テーマと講師:**

(1) 「起動データによるスマホアプリ間の関係の抽出」  
 荻野真樹, 李元姫 (筑波大学)

(2) 「Harker法拡張によるANP開発と品質機能展開

への応用」

関谷和之 (静岡大学)

#### ・第67回

**日 時:** 2015年12月12日(土) 13:30~15:30

**場 所:** 東京理科大学 森戸記念館

<http://www.tus.ac.jp/facility/morito/>

**テーマと講師:**

(1) “Impact of the Local Public Hospital Reform on the efficiency of medium-sized hospitals in Japan: an improved slacks-based measure DEA approach”

Xing Zhang (政策研究大学院大学)

(2) “Sensitivity analysis of dynamic slacks-based measure for change of uniformly distributed weights to term”

Kitamori Takuya and Sekitani Kazuyuki (静岡大学)

**問合せ先:** 廣津信義 (順天堂大学)

Tel: 0476-98-1001 (ex.352)

E-mail: nhirotsu@juntendo.ac.jp

\*参加費無料・事前申込は不要です。初めての方も気軽に参加ください。

### 〔DEA Workshop 2015〕

Advances in DEA Theory and Applications with Extensions to Forecasting Models

**日 時:** 2015年12月1日(火) 13:25~17:00

12月2日(水) 10:00~16:00

**場 所:** 政策研究大学院大学 研究会室 A4 (東京都港区六本木7-22-1)

<http://www.grips.ac.jp/jp/about/access/>

**講演タイトル:**

12月1日 13:25~17:00

0. Opening Remarks: Prof. Kaoru Tone (GRIPS, Japan)

1. Kaoru Tone (GRIPS, Japan): Resampling in Data Envelopment Analysis illustrated by a hospital example

2. Xiaopeng Yang (Univ. of Toronto, Canada): Combining Support Vector Machine and Data Envelopment Analysis to Predict Corporate Failure for Nonmanufacturing Firms

3. Joseph Paradi (Univ. of Toronto, Canada): Corporate Failure Prediction for Non-

## Manufacturing Firms Using SBM

4. Hiroyuki Kawaguchi (Seijo Univ., Japan): Dynamic-Network DEA and An application to Japanese Hospitals
5. Masayoshi Hayashi (Univ. of Tokyo, Japan): DEA and social policy: A performance evaluation of Japanese local welfare offices.
6. Hirofumi Fukuyama (Fukuoka Univ., Japan): Dynamic-Network DEA and An application to Japanese Prefectures

12月2日 10:00~16:00

7. Tsung-Sheng Chang (National Chiao Tung Univ., Taiwan): DEA Models Incorporating Uncertain Future Performance
8. Bing Xu (Heriot-Watt Univ., UK): Performance evaluation of prediction models under multiple criteria
9. Jamal Ouenniche (Univ. of Edinburgh, UK): DEA in bankruptcy—few methodological fixes
10. Miki Tsutsui (CRIEPI, Japan): A quantitative analysis of market opportunity utilization in electric power companies
11. Andrew Johnson (Texas A&M Univ., USA): Predictive Efficiency Analysis: A study of U.S. Hospitals
12. Bo Hsiao (Chang Jung Christian Univ.,

Taiwan): Efficiency Predictions by Fuzzy Piecewise Auto-regression in Dynamic Network System

13. Ming-Miin Yu (National Taiwan Ocean Univ., Taiwan): Performance evaluation of BDI forecasting: Cross efficiency, the shortage function and portfolio theory

問合せ先：筒井美樹（電力中央研究所）

E-mail: miki@criepi.denken.or.jp

\*参加費無料・事前申込は不要です。

### ● 研究助成募集案内

・平成27年度研究調査助成（公益財団法人電気通信普及財団）

**対象分野**：情報通信に関する法律，経済，社会，文化的な視点からの研究調査

**応募資格**：個人，共同研究組織，法人のいずれでも可（ただし，大学生，大学院修士課程および過去通算5年以上助成を受けた方などは，申込みをご遠慮ください。）

**助成金額**：（平成26年度実績）1件当たり30万円～150万円 平均91万円。

**募集期間**：平成27年11月1日（土）～11月30日（日）

**問合せ先**：公益財団法人電気通信普及財団事業部

電話：03-3580-3411 E-mail: jigyoubu@taf.or.jp

URL：http://www.taf.or.jp/josei/a01.html

\*\*\*\*\*

## 2015年度第2回ORセミナー

## 『技術者に有用なゲーム理論の基礎—経営戦略への応用』

\*\*\*\*\*

**セミナーの概要:** 昨年のORセミナー「技術者のためのゲーム理論の基礎」は、大変なご好評をいただきました。前回のアンケートで東京以外の開催を希望する声がありましたので、今回は第2弾として、経営戦略に焦点を当てたゲーム理論のセミナーを関西で開催します。

昨年度のノーベル経済学賞を受賞したJean Tiroleが切り開いた産業組織論 (Industrial Organization) と呼ばれる分野は、特許・研究開発競争・投資競争・価格競争など企業の競争をゲーム理論のモデルを用いて分析し、新しい経営戦略論に応用され注目されています。

これらの理論の骨子は、簡単な数理モデルで表されるためOR実務家やエンジニアには学びやすく、マーケティング、サプライチェーン、財の取引などのシステム構築に対してもよいアイデアを提供するため、興味も持ちやすいものです。しかし日本の多くの理・工学部には、これらの講義はほとんどなく勉強のきっかけがつかめないので現状です。

本セミナーでは、簡単な1次関数や2次関数のモデル等でこれらの基礎を学び、さらにこのモデル分析の結果をビジネスに活用する考え方について学びます。

**日時:** 2015年12月5日 (土) 9:50~17:00 (9:15開場)

**会場:** 大阪大学中之島センター 講義室507 (大阪市北区中之島1-2-10)

<https://www.onc.osaka-u.ac.jp/index.php>

**主催:** OR学会関西支部, 「ORにおけるゲーム理論」研究部会

**コーディネーター:** 渡辺隆裕 (首都大学東京) 連絡先: hp2@nabenavi.net

**プログラム:**

9:50~9:55 開会挨拶 (OR学会関西支部)

9:55~10:00 セミナーの概要 (渡辺)

10:00~11:30, 12:30~13:00 (2時間) 渡辺隆裕 (首都大学東京) 「初歩から学ぶクールノー競争とベルトラン競争」

まず、ゲーム理論の経営戦略への位置づけを簡単に述べ、次に簡単な線形モデルのクールノー競争とベルトラン競争のモデルを学びます。さらにコストダウンの効果や市場拡大の効果にこれらのモデルを応用し、理解を深めます。

13:15~15:15 (2時間) 三道弘明 (大阪大学) 「ゲーム理論で解く2社間の競合戦略 (価格、広告、品揃えなど)」  
経営戦略への応用が大きいホテリングモデルを、簡単な線形モデルで学び、価格競争・製品の多様化戦略・参入戦略などへの応用を知る。具体的には、価格競争が起こる理由、品揃えに大きな差が出る大手スーパーと地元スーパーの戦い、広告 (あるいはチラシ) と価格の戦略、通常の店舗小売りの市場にネット通販が参入して影響などを例にする。

15:25~16:25 (1時間) 松林伸生 (慶応義塾大学) 「ビジネスへのゲーム理論の活用」

ゲーム理論によるモデル分析の結果を実際のビジネスに活用する上での考え方、注意すべき点について、例を用いながら議論する。またマーケティング、ITビジネス、サプライチェーンなどの分野における意思決定の際にゲーム理論が与える示唆についても可能な範囲で触れる。

16:25~16:45 (20分) 質疑応答とまとめ (渡辺)

**参加費 (テキスト代込み):** 正・賛助会員 (協賛学会員を含む) 5,000円, 学生会員 1,000円, 学生非会員 1,500円, 非会員 20,000円

**セミナー参加特典: 個人非会員 (賛助会員含む) は入会金無料で入会でき、2015-16年度の年会費は免除されます。**

**申込先:** OR学会事務局 (E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp) お名前, ご所属先, 正会員/賛助会員/協賛学会員/学生会員/学生非会員/非会員の別, お支払い予定日を記載してメールにてお申込みください。セミナー特典利用ご希望の場合, ご所属先宛の請求書が必要な場合, その旨をお書きください。

**申込締切:** 2015年11月25日 (水) ただし定員になり次第, 締め切ります。

**振込先:** みずほ銀行根津支店 (店番号235) 普通1530801

口座名: 公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

**協賛学会:** 日本経営工学会 (JIMA), 日本品質管理学会 (JSQC), 日本信頼性学会 (REAJ), 研究・技術計画学会 (JSSPRM), 日本設備管理学会 (SOPE-J), プロジェクトマネジメント学会 (SPM)

**2016年度年会費納入のお願い**

2016年度年会費の請求書を2015年11月に発送いたします。

大学または、会社宛の請求書が必要な場合は、以下をメールにて事務局にお知らせください（会員氏名、請求金額、請求書宛名（個人名／法人名／法人名＋個人名）請求書の日付指定の有無、様式の指定…請求書／見積書／納品書、指定用紙など）。

**OR学会の事業年度は3月～翌年2月までです。**

**年会費の口座振替（正会員）**

年会費自動振替の方は**2016年1月20日**に「2016年度年会費」が引き落としとなります。口座振替の中止、振替口座ご変更の場合は**11月末まで**に事務局にメールをお願いいたします。

新規に年会費の銀行口座自動振替ご希望の方は、**11月末まで**に事務局までご連絡ください。銀行所定の用紙をお送りいたします。

**シニア会員について**

正会員のうち、20年以上正会員を継続し、会費を完納している60歳以上であり、定常収入を有しない方は、理事会の承認によりシニア会員になることができます。申請／承認後、翌年度よりシニア会員となります。シニア会員の会費は7,200円です。

**特別会員について**

正会員のうち、身体障害者手帳をお持ちの方は、その手帳の写しを事務局に提示していただくことにより、特別会員として年会費半額の免除制度があります。申請／承認後、翌年度より特別会員となります。特別会員の会費は7,200円です。

**学生会員から正会員への変更**

学生会員はご卒業やご就職により、2015年4月から社会人になる場合でも、2016年2月末までは学生会員扱いで、2016年度（2016年3月～2017年2月末）より正会員となります。正会員年会費14,400円を2015年11月以降に請求させていただきます。

ご卒業やご就職による「住所・所属先・OR誌郵送先の変更」や「退会希望」については必ず事務局にご連絡ください。

**学生会員年会費無料化キャンペーン**

OR学会では学会活性化の一環として、2013、2014年度に引き続き、2015、2016年度も「学生会員年会費無料化キャンペーン」を実施中です。

1) 学生新入会希望で、かつ指導教員が正会員の方は、2015年度・2016年度の学生会員年会費5,000円は無料となり、入会金600円でご入会できます。

- ①WEBからの入会申込み
- ②入会金600円のお振込み
- ③指導教員様からの応募メール（「指導教員様のお名前、ご所属、学生の方のお名前、ご所属、メールアドレス」）

以上3点をもって、無料化受付が完了します。

2) 学生新入会希望で、指導教員様が非会員の場合は、「学生会員年会費無料化キャンペーン対象外」となり、通常の年会費5,000円が必要となりますので、ご注意ください。

3) 6月に「学生証PDF送付依頼」のメールを送りました。返信をよろしく願います。

**年会費専用振込み口座**

年会費（不課税）：正会員 14,400円、  
学生会員 5,000円、  
シニア会員 7,200円

口座名：公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

ゆうちょ銀行：東京00190-6-79492

みずほ銀行：根津支店（店番号235）普通1124744

\*手数料は払込人負担でお願いいたします。

\*お名前はフルネームでお書きください。

**OR学会事務局**

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5

サン・チカビル7F

TEL: 03-3851-6100, FAX: 03-3851-6055

\*各種お届けは、メールにてご連絡ください。

（住所／所属先／メールアドレス／OR誌送付先等の変更、退会届）

会員氏名と新旧の変更内容をお書きください。